

No. 10

総合病院 土浦協同病院  
広報誌 touch (タッチ)  
TAKE FREE

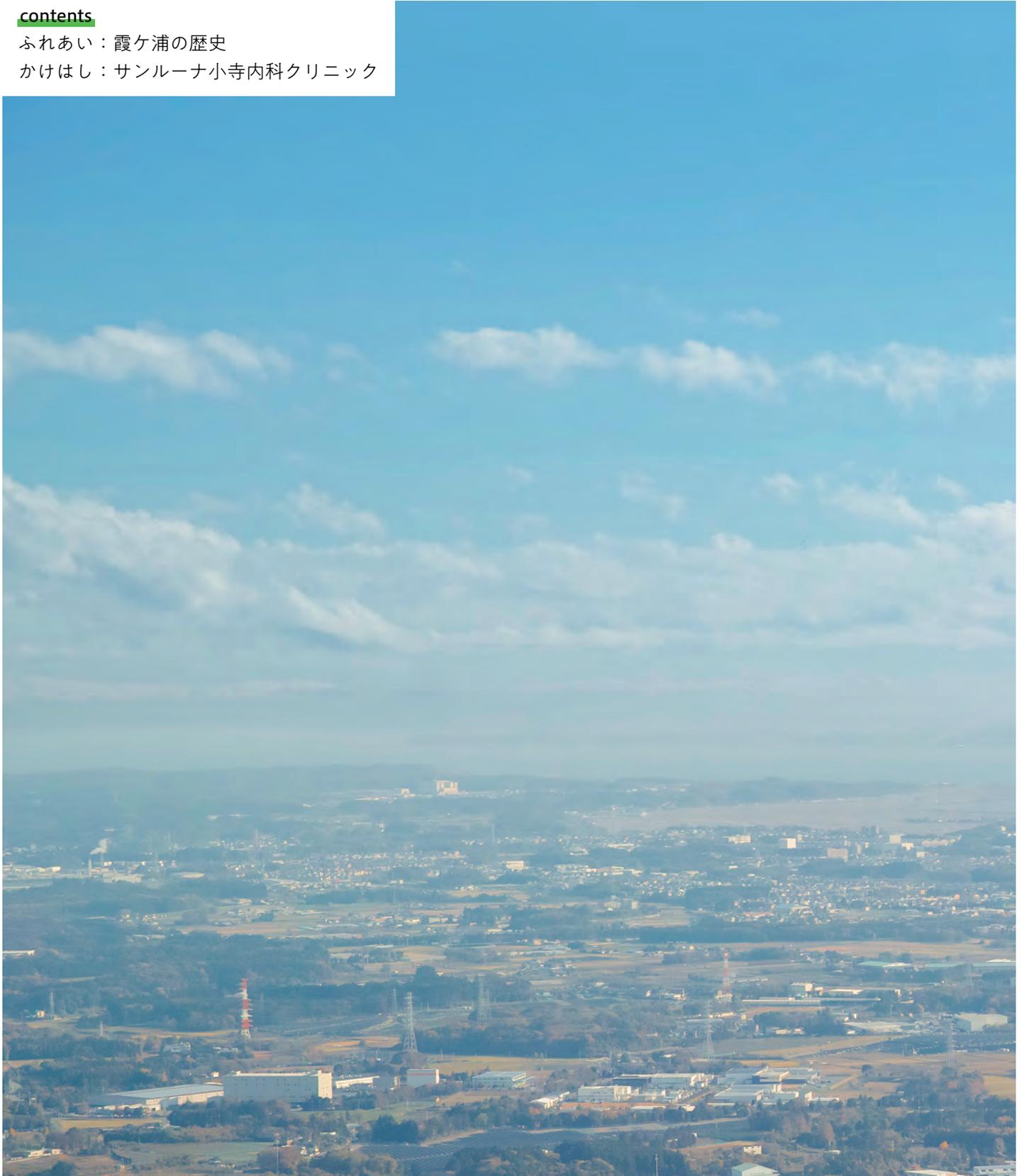
# touch

---

## contents

ふれあい：霞ヶ浦の歴史

かけはし：サンルーナ小寺内科クリニック



特集：これからの土浦協同病院 – 地域医療支援病院の役割 –

# これからの土浦協同病院

## － 地域医療支援病院の役割 －

地域の医療機関と連携して診療を行う「地域医療連携」。当院も様々な取り組みを行うことで地域医療連携を推進してきました。これらが評価され、平成 30 年 8 月に茨城県より「地域医療支援病院」の指定を受けました。地域のなかで、これからの土浦協同病院がどのような役割を担っていくのかを解説します。

### ① 地域医療支援病院

地域医療支援病院は、患者さんにとって一番身近な地域のかかりつけ医（診療所やクリニック等の医師）を支援する役割を担っています。そのなかでも、大きな役割として次の4つがあげられます。

- ① 紹介患者に対する医療提供
- ② 医療機器の共同利用
- ③ 救急医療の提供
- ④ 地域の医療従事者に対する研修

この制度には、それぞれ規模や機能が異なる医療機関の役割をより明確にすることで地域医療全体の質と効率性を高める目的があります。日常的な診療をかりつけ医が、入院や手術を伴う専門的な診療を病院が担うことで限られた医療資源を最大限活用できるようになります。

土浦協同病院

## 退院後の療養

### ⑦回復期・療養期病院

急性期病院での治療を終え、症状が安定した患者さんは連携する病院に転院してリハビリテーションなどの回復期・療養期に必要な治療を行います。退院後はかかりつけ医へと紹介され、日常的な診療を行っています。

### ⑧介護老人保健施設

介護老人保健施設は、介護を受けながらリハビリテーションなどに取り組み在宅復帰を目指す施設です。そのため入居期間には一定の限りが設けられています。

### ⑨在宅医療

様々な理由で通院が困難な患者さんが、自宅や施設で受けられる医療・介護サービスです。訪問診療や訪問看護、訪問介護、通所サービスなどを利用します。また、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、有料老人ホームなども在宅医療になります。

→ 急性期医療  
→ その他

## 急性期病院へ

### ④救急医療

当院の救命救急センターでは急性心筋梗塞や脳卒中、多発外傷など生命の危機に瀕した患者さんに高度な救命医療を提供しています。ドクターヘリや救急車も積極的に受け入れており、地域医療を守る最後の砦として日夜奮闘しています。

### ⑤紹介状

紹介状は、かかりつけ医と専門医の役割分担を円滑にするために必要なものです。かかりつけ医は専門医の診察が必要と判断した場合に発行し、専門医からは治療経過の報告や治療継続の依頼などで発行されます。

### ⑥健康診断・人間ドック

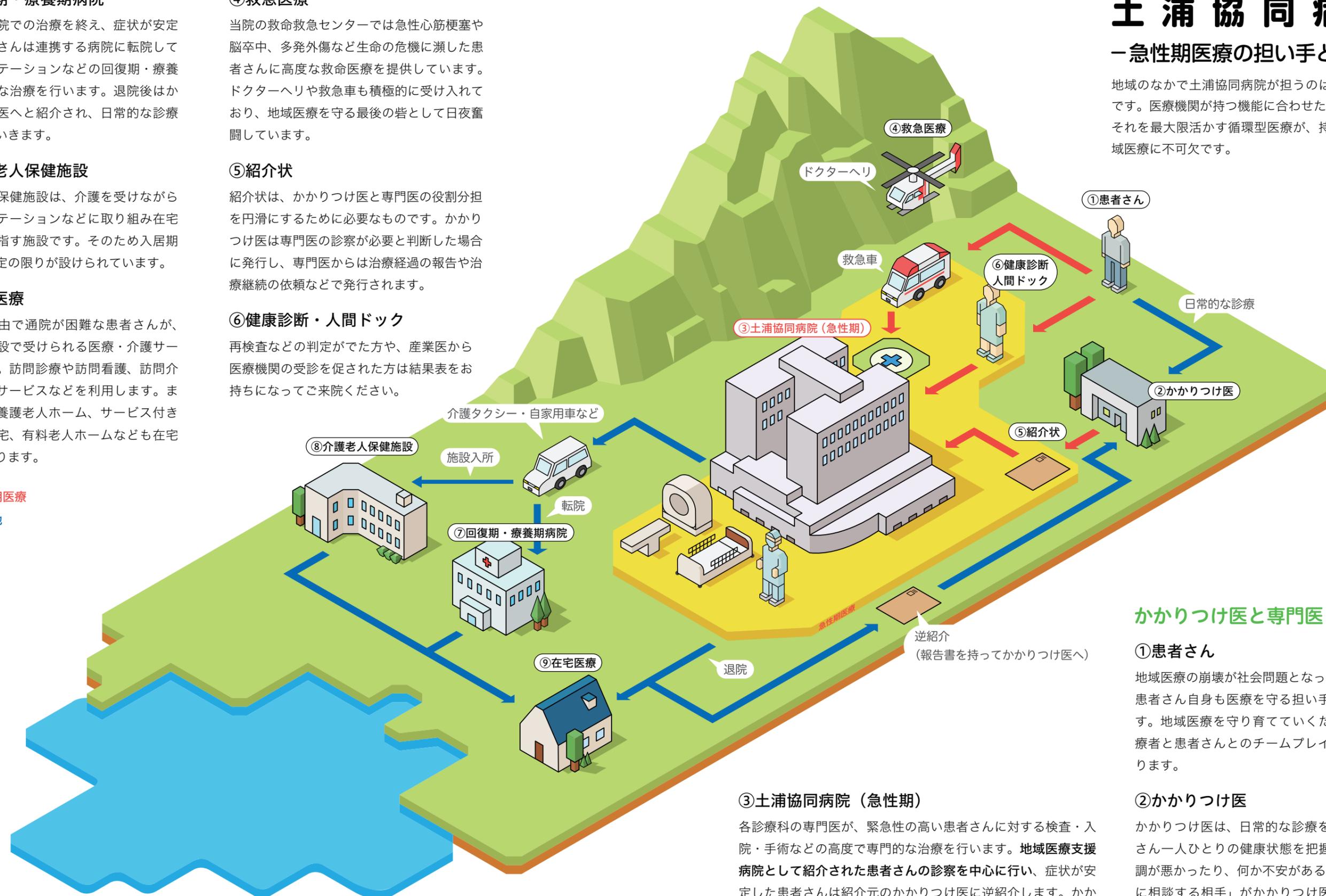
再検査などの判定がでた方や、産業医から医療機関の受診を促された方は結果表をお持ちになってご来院ください。

よく分かる！ 地域のなかの

# 土浦協同病院

—急性期医療の担い手として—

地域のなかで土浦協同病院が担うのは急性期医療です。医療機関が持つ機能に合わせた役割分担と、それを最大限活かす循環型医療が、持続可能な地域医療に不可欠です。



## かかりつけ医と専門医

### ①患者さん

地域医療の崩壊が社会問題となっている現在、患者さん自身も医療を守る担い手のひとりです。地域医療を守り育てていくためには、医療者と患者さんとのチームプレイも重要になります。

### ②かかりつけ医

かかりつけ医は、日常的な診療を通じて患者さん一人ひとりの健康状態を把握します。体調が悪かったり、何か不安があるとき、「最初に相談する相手」がかかりつけ医であり、地域医療の中心的役割を担っています。

### ③土浦協同病院(急性期)

各診療科の専門医が、緊急性の高い患者さんに対する検査・入院・手術などの高度で専門的な治療を行います。地域医療支援病院として紹介された患者さんの診察を中心に、症状が安定した患者さんは紹介元のかかりつけ医に逆紹介します。かかりつけ医がない患者さんへのご紹介も行っています。



Profile

河内 敏行

整形外科医師。1987年東京医科歯科大学医学部卒業。国立横須賀病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、諏訪中央病院などを経て2004年4月より土浦協同病院勤務。2010年4月に整形外科部長、2015年4月に副院長を経て2018年4月より統轄病院長補佐に就任。

入れられる体制を常に整えておくことも、地域医療を円滑にするため当院に課せられた使命です。これからは介護にも多くの人手が必要になり、医療現場の人材にも限りが出てくるようになるでしょう。医療提供のあり方をもう一度考え直す時期にきています。今ある資源、有限である医療資源を上手に利用していくことが求められています。そのための地域連携です。当院を信頼して患者さんを紹介していただいている地域の医療機関と共に、切れ目のない医療を実現するため私たちも努力を続けていきますので、引き続きご指導・ご協力のほど、よろしくお願いたします。



インタビュー：統轄病院長補佐 河内 敏行

これからの土浦協同病院

● 地域全体が力をあわせて

地域包括ケアシステムが浸透し、ひとつの医療機関だけでなく地域全体で患者さんを診ていく、という体制が整ってきました。色々な施設が加わった医療提供が想定できるようになってきたからこそ、限られた医療資源の有効活用が可能になります。

そういった状況のなか、これまでも当院は地域の基幹病院として、ご紹介いただいた患者さん、救急・重症患者さんを中心に急性期医療の提供を行ってきました。地域医療支援病院になっても、この役割に大きな変化はありませんが、これまで以上に地域の診療所や病院との病診連携、地域連携を強化していく必要があります。患者さんの紹介、逆紹介を推進させることで、より地域と密着した病院になればと考えています。

これには超高齢社会を迎えた現在だからこそ課題も関係しています。高齢の方は、例えば風邪などの軽症であっても比較的容易に肺炎などを併発し重症化しやすいため、臨機応変な医療が必要にな

る可能性があります。状況に応じ、一人ひとりの病態、家族や生活状況などの背景も含めて患者さんを診ていく「高齢者にフォーカスした医療提供」は地域医療において無視することはできません。私たちの病院はそのうち急性期の一部分を担うに過ぎません。治療後の介護も含めて、普段は地域の診療所や病院の「かかりつけ医」に医療提供を行っていただき、患者さんを中心とした医療を地域全体で構築していくことが大切です。

また、当院が位置する土浦医療圏（土浦市・かすみがうら市・石岡市）は約25万人の住民を抱えていますが、当院を受診する患者さんの4割はこの医療圏以外の地域から来院されています。つまり当院には、医療圏を超えた県南地域全体を含むさらに広域な急性期医療を担っていく責務があります。そのためにも、紹介された患者さん、症状が安定した患者さんをしつかりと地域にお返しし、地域のなかで循環させていくという取り組みがますます重要になってきます。当院の医療機能が必要とされる患者さんを、できる限り受け

あはたも

二人の主治医を持ちましょう！

「かかりつけ医」と「専門医（病院）」が連携し、役割分担をすることで適切な医療を提供します。



かかりつけ医

ご近所のクリニックや診療所で日常的な診療や健康管理を担当

紹介状を通じた緊密な連携



専門医（病院）

検査や手術、入院が必要な場合の医療を担当

1 医療費の抑制につながります

検査結果を紹介状と一緒にお持ちいただければ、検査の重複を防ぎ、無駄な医療費を抑えることができます。また、紹介状をお持ちの場合、選定療養費（¥5,400）は不要となります。

2 スムーズな受診につながります

かかりつけ医を通して予約すると、事前にカルテの準備が可能になり、スムーズな受診につながります。また、日常的な診察をかかりつけ医が担当することで、待ち時間が長くなりがちな病院での診察を減らせます。

3 毎日の安心につながります

かかりつけ医と専門医が連携することで、症状が悪化した場合にも切れ目のない診療の提供が可能です。また、かかりつけ医がいない場合でも、当院のスタッフが患者さんの症状やお住まいに合わせたかかりつけ医を紹介しています。

no.19

事務部 医事課  
地域医療連携室担当 薄井 まどか



「顔の見える連携」で  
地域をつなぐ

地域医療連携室では、地域の医療機関から紹介される患者さんの受け入れや、紹介元への逆紹介、かかりつけ医のご紹介を主に行っています。また、当院の持つ検査機器を利用したい、という依頼への対応や、連携強化、当院の機能のご案内、広報を目的とした連携医療機関への訪問なども行っています。

勤続年数：6年 趣味：ディズニー、ラーメン屋巡り

は、病状やご家族、生活背景など一人ひとりまったく違います。それらを考慮したうえで、の臨機応変な対応が求められますが、そのぶんスムーズに紹介が進められたときにはとてもやりがいを感じます。地域の医療機関の先生やスタッフの方には、当院を信頼してご紹介いただき、いつも感謝しています。私たちも積極的に当院の情報を発信することで、「顔の見える連携」を築き、スムーズな地域連携につなげていきたいです。

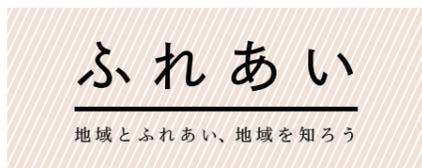


霞ヶ浦の歴史

全 国第2位の面積を有する霞ヶ浦は、筑波山と共に茨城県の自然を代表するスポットです。

霞ヶ浦がある関東平野はもともと海底にありましたが、約7万年〜1万年前の最終氷期によって海面が低下し、徐々に陸地化していききました。その後、約6千年前の海面上昇によって、谷になっていた霞ヶ浦に海水が浸入し、ほぼ現在の形となりました。霞ヶ浦周辺には石器時代か

ら人々が暮らしていました。4〜7世紀にかけては、有力な豪族が出現し多数の古墳を残しています。江戸時代には利根川東遷事業によって水運が発達し、河岸と呼ばれる港が作られ大いに繁栄しました。現在は水運としての役目を終え、水郷の里として観光化が進んでいます。農業・工業・生活用水としても利用され、石器時代から変わらず、周辺に住む人々に恩恵を与え続けています。



霞ヶ浦  
土浦市沖宿町付近にて撮影

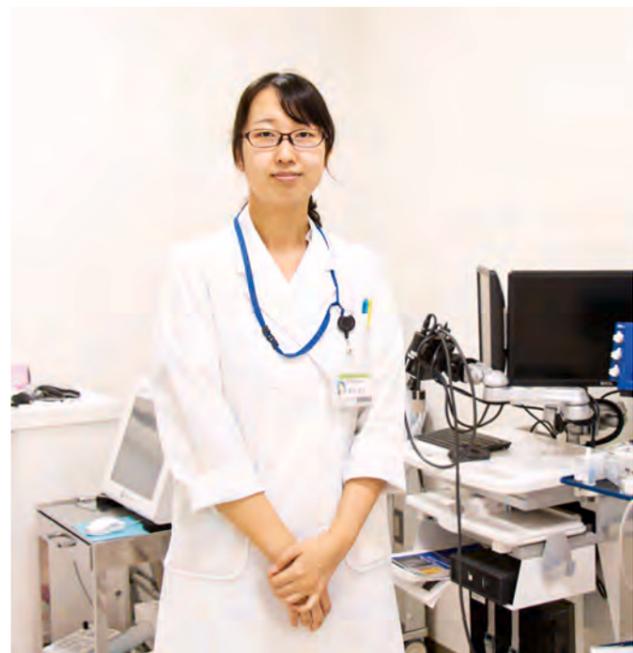
治療に必要な情報を  
考えながら正確に

心電図や呼吸機能検査、超音波検査、神経系の検査、血管の検査などを行う生理機能検査室での業務を担当しています。そのなかでも、血管の検査はバスキュラーポという検査室で行っており、血管エコーや酸素分圧測定などの検査によって心臓と頭を除く全身の血管を評価しています。血管の検査を担当するようになってからは、専門知識

勤続年数：7年 趣味：映画鑑賞

の必要性を感じる場面が多くなり、血管診療技師の資格を取得しました。検査を行うにあたっては、術前や術後など患者さんの状態を踏まえつつ、医師がどういった情報を望んでいるのかを考えながら正確な検査結果を返せるよう意識しています。血管の病気は、高齢化や糖尿病の増加に伴い重要性が増しています。まだまだ勉強中ですが、チームの一員として、もっと治療に貢献できるようになりたいと思っています。

no.20  
検査部 臨床検査技師  
血管診療技師 関谷 直子





# かけはし

地域の健康をまもる  
連携医療機関の紹介

Vol.12

## サンルーナ小寺内科クリニック

住所：茨城県土浦市おおつ野 2-1-1  
電話：029-869-8882  
FAX：029-869-8883  
診療科目：内科、神経内科  
休日診療日：木曜日・祝日・日曜日・土曜日午後  
URL：http://www.sunluna.jp/clinic/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (08:30 ~ 12:00)	○	○	○	休	○	○	休
午後 (14:00 ~ 18:00)	○	○	訪	休	○	休	休

※水曜の午後は訪問診療の為、クリニックでの診療は行っておりません

**ご挨拶**  
土浦協同病院神経内科に昭和61年から平成28年まで勤務したのち、平成28年10月1日に土浦協同病院のすぐそばに開院した新しいクリニックです。地域の皆様の「かかりつけ医」として、内科および神経内科の疾患の診療でお役に立てればと思います。開院しました。  
土浦協同病院は、私を育ててくれた故郷のような病院です。土浦協同病院には、当院では出来ない検査を御依頼し、入院や更に専門的な診察が必要な患者様を紹介させていただきます。ありがとうございます。スムーズに事が運びます。これは、酒井義法院長のもと地域医療支援病院となり、地域医療連携室や各科のスタッフの方々の尽力のお陰と感謝しております。  
病診連携は、皆様を地域で支える構想ですが、当院が皆様に少しでも支持されるクリニックの役割が担えるようにスタッフ共々研鑽を続けたいと思います。土浦協同病院との病診連携がこの地域の安心につながっています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### アクセスマップ



### 小寺 実 院長



市民交流広場は1階のエスカレーター脇にあります。当院は地域医療の拠点病院として、医療と地域社会が融合したメデイカル・エコタウン構想を掲げています。市民交流広場も、その一環として来院された患者さんやご家族、地域住民に開かれた場となるよう設置されました。  
ここでは、病院が開催する健康教室や医療に関連したイベントなど、様々な催し物も行っていきます。機会があればぜひご参加ください。

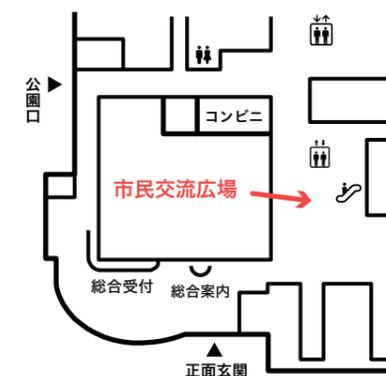


### 基本情報

場 所：1階エスカレーター脇  
設 備：再受付け機5台  
長イス8台  
テーブル4台  
エレベーター1基(1~2階)

※市民交流広場では当院広報誌をはじめ、様々な情報誌やリーフレットを配布しています。気になるものがありましたら、ご自由にお持ちください。

### アクセス



土浦協同病院には様々な施設があります。快適に過ごしていただくための施設から、見つけたらちよっとうれしい「なにか」まで、院内のあらゆるスポットを紹介いたします。

予防医療センターにて

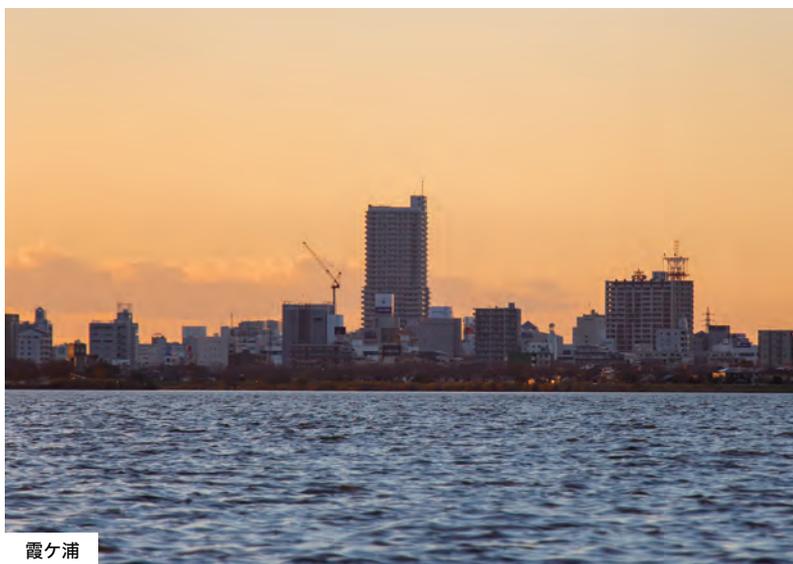
# 経鼻内視鏡 を行っています

## 人間ドックのオプションで経鼻内視鏡検査が選択 できるようになりました

平成 30 年 6 月 1 日より、予防医療センターにて経鼻内視鏡検査を開始しています。経鼻内視鏡は経口に比べて負担の少ない検査で、人間ドックのオプションとして選択できます。ご予約の希望、ご質問がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。

- ・経口に比べ吐き気や違和感が少なくなります
- ・検査中に医師との会話や質問も可能です
- ・経口に比べ観察に多少時間がかかります
- ・鼻腔が狭い方、疼痛がある方などは経口に変更する場合があります

お問い合わせ：土浦協同病院 予防医療センター (Tel) 029-846-3731



霞ヶ浦



患者さまの声

### → voice

産婦人科に来ました。来院受付時間は 10 時 30 分。15 時を過ぎても呼ばれません。全体的に診察が進んでいない様子はわかりますが、もう少し待ち時間の短縮や有効方法はないのでしょうか。食事のタイミングとか考えたいです。

### ← answer

大変お待たせして申し訳ございません。産婦人科外来の待ち時間につきましては、地域の開業医の廃業により患者様が当院に集中しており、患者様をお待たせしていることが多くなっております。また、予約外の急な診察もあり、予約時間どおりに進まないこともございます。食事などで席を外す場合はスタッフにお声かけ下さい。今後は、待ち時間をあらかじめお伝えするなど工夫してまいりますので、何卒ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

## 編集後記

特集中で使用している俯瞰写真は宝篋山から撮影したものです。次号の touch は 2 月 28 日発行予定です。また、バックナンバーは当院ホームページから閲覧できます。

touch (タッチ) は土浦協同病院の広報誌です。タイトルには、地域とふれあい、私たちの理念を地域の皆様に届けたい、という願いを込めました。

発行所／総合病院 土浦協同病院  
編集／病院機関誌委員会 地域医療連携室  
発行人／酒井義法  
MAIL／general@tkgh.jp